

『はるかのひまわりプロジェクト』 進行中です

5月24日（NO.8）号でお知らせしました児童会の『はるかのひまわりプロジェクト』が進行中です。

この度、年度当初から今までの児童会の活動を一枚のパネルに、子どもたちがまとめました。

児童会の今年度の活動目標は、『命をつなぎ 心もつなぐ 笑顔広がる 愛ある平荘小学校』です。その目標達成のために、あいさつ運動やいじめ防止啓発のための創作劇による全校生への呼びかけ、『はるかのひまわり』のお世話等、平荘っ子の心に発信する活動を進めてきました。まだまだ志半ばですが、一日一日、平荘小学校が『愛ある平荘小学校』として一人一人の心の中に根付いていくよう、これからも活動を続けていってほしいと思います。教職員も、一丸となって子どもたちをサポートしていきます。

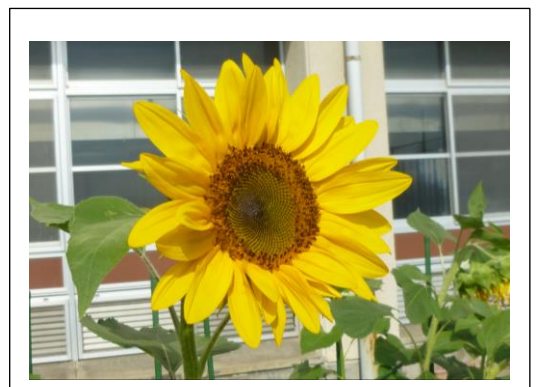
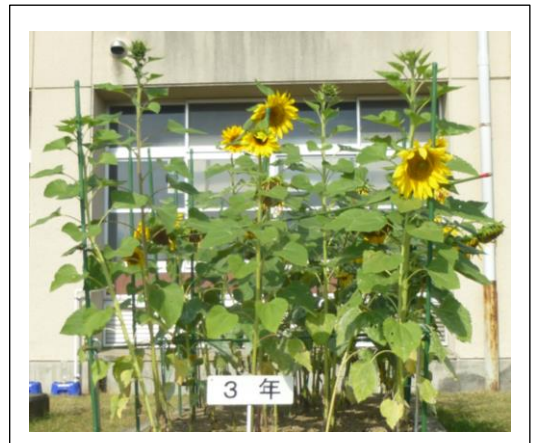


『はるかのひまわり』が 元気に咲いています！

季節は立冬を迎えましたが、時期をずらしながら『はるかのひまわり』の種まきをした第3弾(ひまわり)が、今も元気に3年生の学級園で花を咲かせています。太陽に向かって、黄色い大きな花を堂々と咲かせている姿に、生きるエネルギーを感じます。

子どもたちには、『はるかのひまわり』のお世話をしたり花を愛でたりする体験を通して、『はるかのひまわり』をより身近に感じてほしいと願っています。『はるかのひまわり』に込められた思いや願い・由来を意識することで、平荘っ子の心がさらに豊かになり、命の尊さについても自分事として一層捉えてくれることを期待しています。

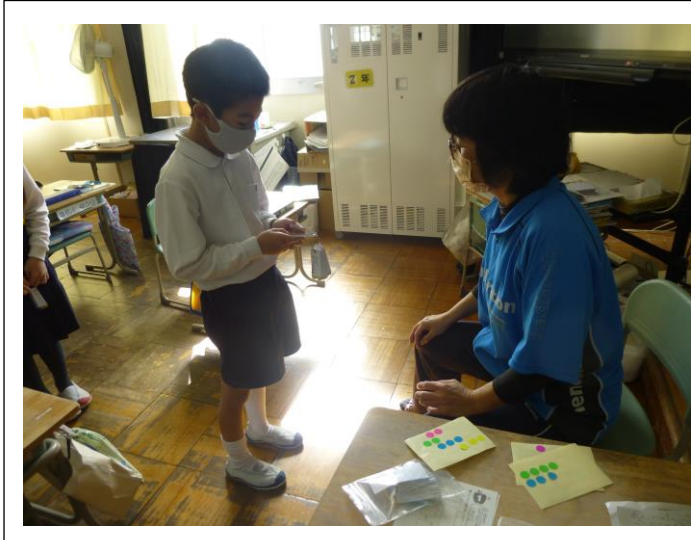
種の収穫の時期を迎え、やがて花は枯れていきますが、『はるかのひまわり』が、平荘っ子の心の中に咲き続け、自分の命も周りの人の命も大切に行動してほしいと願っています。



2年生が、かけ算の九九の暗記を頑張っています

現在、2年生は、かけ算の九九をマスターするために、日々頑張っています。九九を覚えるのは大変な時間と努力が必要ですが、子どもたちは投げ出すことなく頑張っています。ご家庭のご協力に感謝しております。

2年生のみなさん、かけ算の九九は、これからの算数の学習の基礎となります。覚えるまでは苦労しますが、『九九名人』をめざして、頑張りましょう。



体重測定後に、保健指導をしています

11月1日（月）に4～6年生が、そして、11月5日（金）に1～3年生が体重測定を行いました。コロナ禍の中、感染防止対策を講じながら実施しました。

その後、どの学年も、発達段階に応じた保健指導を行っています。

具体的には、4年生は『体が動く仕組み』
5・6年生は『自分でできるけがの手当』
1～3年生は『正しい体温のはかり方』について、学習をしました。

4年生では、ほねやきん肉を強くするためには、「カルシウムをとる」「血や肉になる食べ物をとる」「運動をする」ことが大切であることを学びました。

5・6年生は、擦り傷をした時の手当の仕方をはじめ、鼻血の手当・突き指の手当・打撲や捻挫の手当・やけどの手当等を学びました。けがをした際には、そのけがの状態をさらにひどくしないための適切な手当が重要となります。例えば、突き指をした後、突き指をした箇所をもんだり引っ張ったりするのはかしないのか、打撲や捻挫をした時に患部を冷やすのか温めるのか等々、正しい手当の仕方を知り、自分で自分の体を大事にしてほしいと思います。

➡突き指の手当…もんだり引っ張ったりしない。水や氷で冷やす。

➡打撲・捻挫の手当…動かさない・水や氷で冷やす。

そして、何より大切なことは、けがの防止に努めることです。『生活のリズムを整える』『危険を予測する』『危険をさける』ことがポイントです。

一人一人大切な身体です。保健の知識を生かして生活してほしいと思います。

